

# 舌下免疫療法について

アレルギー免疫療法（現在アレルギー症状を根本から治すことができる唯一の治療法）

- 食物アレルギーの食物負荷
- 注射による皮下免疫療法
- 舌下免疫療法（ダニアレルギー&スギアレルギー）

## <治療の流れ>

### 1 診断

ダニ・スギのアレルギーであることの確定診断が必要となります。過去の検査データがある方は、過去のデータでの診断とします。過去に検査をされてない、もしくは、検査を受けていたが証明できるものがない場合は、当院で血液検査を行います。

### 2 初回投与の予約

初回投与は、診療所で行います。初回投与の治療薬は、継続処方の治療薬とは異なるため、予約制となります。予約は、月曜日を除く平日午前中となります。副反応なく終了する方がほとんどで、当院でも経験をしたことはありませんが、ごくまれに強い副反応を示すことがあります。市立東大阪医療センターと連携を取っており、緊急対応はさせていただきますが、入院等の必要性が生じた場合は、同院で対応していただくこととなっております。バックアップ体制の強化のため、前述の日時でのご予約となります。

現在、スギの初回治療薬が出荷制限中のため、入手が大変困難であり、順番待ちとなっております。確保でき次第、電話等で連絡を行い、初回投与の予約日を決めますので、受付にお声がけください。

### 3 初回投与

初回薬剤を、診察室で医師の監修の下、内服していただきます。内服後、30分間院内に滞在していただきます。30分経過し、異常がなければご帰宅ください。次回は、1週間以内に受診していただきます。副反応の出現状況等確認し、2週目以降の処方を行います。以後、1か月おきの受診となります。

### 4 継続・中止・終了・再開

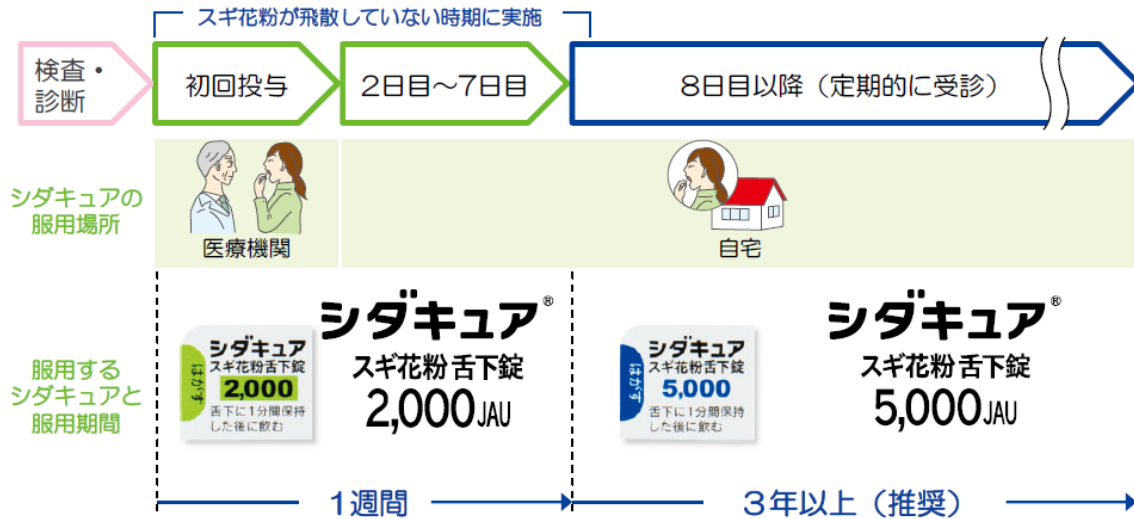
副反応が強く出た場合でも、治療を継続することができます。継続の方法については、医師から説明しますので、自己判断で中止せず、ご相談ください。原則、3~5年の継続が推奨されてます。効果のある場合は、上記期間の継続をお勧めします。中止・終了についても、お気軽にご相談ください。

## <副反応>

口腔内(特に舌下)、唇、舌、耳の中のかゆみ、咽頭違和感、鼻症状、唇などの粘膜浮腫を認めることがあります。程度の軽いものであれば、対症療法を行い、治療継続することが可能です。継続することによりなれることが多いです。医師にご相談ください。また、ごくまれに、蕁麻疹、嘔吐、腹痛、下痢、喘息発作が出ることがあります。症状によっては中止することもありますので、ご相談ください。

# 治療のスケジュール

スギ花粉症であることが確認できたら、最初の1週間は2,000JAU錠を、2週目以降は5,000JAU錠を1日1回1錠服用します。  
初回は医療機関で服用し、2日目からは自宅で服用します。



スギ花粉が飛散している時期は、新たにシダキュアによる治療を開始することはできません。

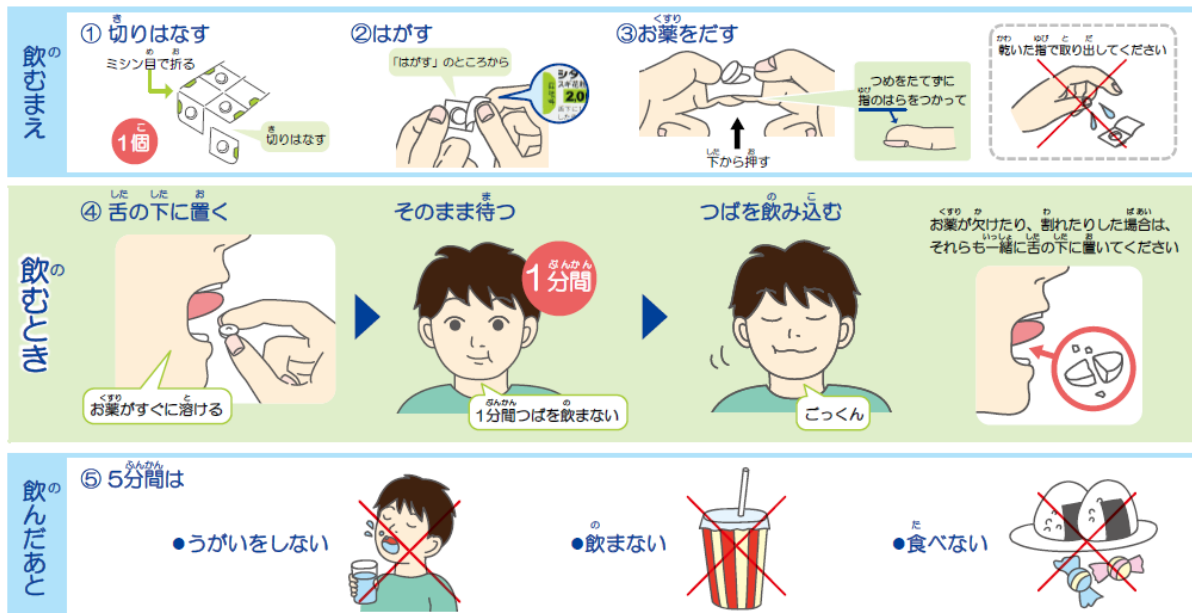
シダキュア

監修：日本医科大学大学院医学研究科 頭頸部・感覚器科学分野 教授 大久保 公裕 先生

小児向け

## シダキュアの飲み方 1日1回1個

シダキュアは、舌の下に置お薬です。  
おうちの人がいるところで飲んでください。



シダキュア

監修：日本医科大学大学院医学研究科 頭頸部・感覚器科学分野 教授 大久保 公裕 先生

※ ミティキュアのスケジュール、飲み方も同様です。